

部局名	産業活力部	所属名	農政課	所属長名	宮崎 裕治	電 話	483-1151 内線3561
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3267		事務事業名称		農業農村振興事業					短縮コード		経常	3267	臨時	3268	
予算区分	会計	01	一般会計		款	06	農林水産業費		項	01	農業費		目	06	農地費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		食料・農業・農村基本法，土地改良法，八千代市補助金等交付規則，八千代市土地改良事業等補助金交付要綱，農地・水保全管理支払交付金交付要綱									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
・昭和42年度より，農業生産基盤の整備を推進し，農業生産性の向上を図っている。 ・研修等を通じ，担当職員の農業農村整備に関する知識の向上を図り，そこで得た知識を農業生産機能の安定に役立てる。 ・平成19年度から新たに「農地・水・環境保全向上対策」が導入され，平成23年度に「農地・水保全管理支払交付金」に改正され，地域ぐるみで集落機能の維持及び農地，農業用水等の資源の保全と質的向上を図る。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 農家の担い手不足や高齢化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下はあらゆる地域で問題となっている。					総合計画の 施策体系	6本の柱（章）		06	第6章産業活力都市をめざして							
						大項目（節）		01	第1節農業							
						中 項 目		01	1. 農業							
						小項目（施策）		01	(1)農業生産基盤の整備と利活用							
						細 項 目		01	①優良農地の保全と効率的な利用							
実 施 計 画 の 計 画 事 業																
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	農政課担当職員，県，印旛郡市土地改良協会，千葉県土地改良事業団体連合会，八千代市土地改良事業推進協議会，印旛沼地区農業農村整備推進協議会，千葉県農地・水保全管理協議会，土地改良区等。										
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： ・負担金の支出 ・河川の汚濁や干害防止のために、水源を地下水等に求めざるを得ない土地改良団体に係る機場電気料の負担を軽減するため補助金を交付した。 ・千葉県農地・水保全管理協議会が、農地や農業用水等の資源保全、質の向上を図る対策に取り組む団体に対し交付金を交付する事業に、市も交付金の1／4の額を同協議会に負担金として支出した。また、担当者職員研修を受けた知識で、この対策に取り組む団体に対して指導や助言等を行った。 ※平成25年度に計画していること： ・負担金の支出 ・河川の汚濁や干害防止のために、水源を地下水等に求めざるを得ない土地改良団体に係る機場電気料の負担を軽減するため補助金を交付する。 ・千葉県農地・水保全管理協議会が、農地や農業用水等の資源保全、質の向上を図る対策に取り組む団体に対し交付金を交付する事業に、市も交付金の1／4の額を同協議会に負担金として支出する。また、担当者職員研修を受け、この対策に取り組む団体に対して指導や助言等を行う。 ・担当者会議への参加										
意図 （何を狙っているのか）	・土地改良施設を維持管理することにより、農業生産性の安定を図る ・農業生産にとって最も基礎的な資源である農地、農業用水等を地域ぐるみでの効率の高い共同活動により、保全管理し質の向上を図っていく。 ・担当職員の農業農村整備に関する知識の向上及び情報収集等										
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外										
区 分					単位	23年度	24年度		25年度		
						実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標1	負担金支出先	団体		6	6	7	6			
	指標2	土地改良区等	団体		9	9	9	9			
	指標3	担当職員	人		2	3	2	2			
活動指標	指標1	負担金支出額	円		3,051,790	1,877,000	2,640,290	1,401,000			
	指標2	補助金交付額	円		1,396,000	2,857,000	2,852,000	2,726,000			
	指標3	担当者会議への参加回数	回		18	10	17	10			
成果指標	指標1	補助金交付団体数	団体		9	9	9	9			
	指標2	農業農村整備に関する知識が向上したと考える職員	%		100	100	100	100			
	指標3										
上位成果指標	指標1										
	指標2										
	指標3										

コード	3267	事務事業名称	農業農村振興事業				所属名	農政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			農業生産機能の安定のため、常に農業情勢の動向に注視し適宜事務の見直しを行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今後、土地改良施設の老朽化が進むことや集落機能の低下、農業従事者の高齢化、後継者不足等により、行政機関が積極的に農地や農業用水等の保全を図る必要が生じる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
米価や農産物価格の低迷，農業従事者の高齢化など，農業の経営環境が大変厳しいことから，補助の充実を求める意見が寄せられている。									

所属長コメント	農業従事者の高齢化や後継者不足等に伴い，耕作放棄地が増加していることから，水田等の機能を維持しながら，農業生産性の安定を図っていく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価とおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									